



学校だより

令和7年1月8日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

新しい年を迎えて

校長 松村 利一

令和7年が始まりました。御家庭でも新たな気持ちで新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今日から3学期が始まりました。冬休みの間、子ども達は大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭・地域の皆様のご協力に感謝いたします。

今年の干支は「巳」ということですが、この「巳」という字は蛇の姿を表していて、蛇は脱皮を繰り返すことから「復活と再生」を連想させるとともに、長寿なことにちなんで「神の使い」としても崇められてきたそうです。本年が若葉台小にとって成長と飛躍の年になることを願っています。



年末年始の時期を迎えるにあたって2024年を振り返り、世界や日本で起きた多くの事象から改めて社会の変化が著しいことを感じました。そうした今だからこそ、学校は時代の変化に合わせて適切に対応することがある一方で、昔から変わらない役割を大切にして取り組むことが大切だと思っています。その一つが、子ども達に夢をもたせ、常に前向きに取り組む意欲を引き出し、さらにその思いを支援することです。子ども達の夢は様々だと思いますが、夢をもつことでそれを叶えるために頑張ろうとするエネルギーが生まれます。そしてそのエネルギーは意欲となって、いろいろなことに積極的に取り組もうとする態度をつくりだします。その結果、人としての成長や充実した人生を歩むことにつながると思います。私は子ども達に、これまでも繰り返し「夢や目標をもって、その達成に向けて努力すること」を求めてきました。それは、たとえ夢が叶えられなかったとしても、夢を達成するまでの過程で得られるものがたくさんあるからです。夢に向かって進む過程では、嬉しいことや苦しいこと、他者の支えや励ましなど、たくさんを経験するはずですが、その経験の中で、感謝の気持ちや思いやりの心が育ち、礼儀正しく規律を守ることや自分がうまくいかないことを他者の責任にしないことなどの大切さを学ぶことができると思います。これらは、社会がどのように変わっていったとしても、豊かな生き方をするために欠かせないものです。若葉台小の子ども達には、そんな価値ある経験をたくさん与えてあげたいと心より願っています。

若葉台小の全ての児童がいつも笑顔でいられるよう、教職員が一丸となって教育活動を充実させて参ります。本年もどうぞよろしく願いいたします。